

# 一般社団法人 大阪国際医療機構 平成30年度 社員総会議事録

1. 日 時 平成30年5月28日(月) 17:50～18:30
2. 場 所 大阪市立大学医学部 1階
3. 議決権のある社員総数 16名
4. 総社員の議決権の数 16個
5. 出席社員数(委任状含む) 16名
6. この議決権の総数 16個
7. 出席理事  
石村栄治、大畑建治、古山将康、鶴田大輔、三木幸雄、元村尚嗣
8. 欠席理事  
池田一雄、伊藤義彰、金子明、河田則文、首藤太一、白木邦彦、中村博亮、藤原靖弘、水関健司

以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により代表理事大畑建治は議長席につき、本定時総会は適法に成立したので開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

## 第1号議案 第2期決算承認の件

議長より、下記書類に基づき、当期(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)における事業状況を詳細に説明報告した。議場にその承認を求めたところ、満場異議なくこれを承認可決した。

1. 事業報告書
  2. 貸借対照表
  3. 損益計算書(正味財産増減計算書)
- ① H29年度の実質の活動はマルシェ学生寮の掃除代金の支援10万円であった。学務課による清掃には限界があるためにプロに委託する必要があったが、医学部ではこのような目的での支出ができず、本機構が代わって支出した。この案件は、理事会メール審議で承認を受けた後に支出した。医学部にとっては大変貴重な財源となった。
- ② 平成29年度より学生渡航費は羽ばたけ夢基金からの支援に移行したために、本機構からの支援はなかった。

- ③ 協定校との大阪での情報交換等はなかったために、平成28年度と比べ支出が減少している。
- ④ 平成28年7月に法人となり直ちに第1期初年度の年会費を募った。翌年度の平成29年4月には新たに年会費を募ったが、設立年度(平成28年度)年会費支払いとの期間が短かったために、平成29年度は既払いと勘違いしている会員がいることが判明した。
- ⑤ 理事会の承認後に税務署に決算報告書を提出する。

#### 第2号議案 2018年度予算案の件

議長は2018年度予算案を提示するとともに詳細な説明をなし、承認を求めたところ、全員異議なくこれを承認可決した。

- ① 平成30年度予算案は平成29年度予算案とほぼ同額とした。
- ② 平成30年度は会員数増と会費納入額増および学生支援・教員クラスの活動および企画を活発化させる。

#### 第3号議案 第Ⅱ期役員について

議長は、理事及び監事の全員が、本定時社員総会終結をもって任期満了となるため、役員改選を付議したところ、次期役員の選出について詳細に説明報告があり、議長から議場に次期役員選任を諮ったところ、満場一致をもって次のとおり選任し、全員異議なくこれを承認可決した。

理事 池田一雄(重任) 石村栄治(重任) 伊藤義彰(重任) 大畑建治(重任) 金子明(重任) 河田則文(重任) 古山将康(重任) 首藤太一(重任) 鶴田大輔(重任) 中村博亮(重任) 藤原靖弘(重任) 三木幸雄(重任) 水関健司(重任) 元村尚嗣(重任)

監事 平田一人(重任)

#### 第4号議案 各報告事項

##### (1) 会員状況報告

議長より会員について報告があった。

##### (2) 活動状況報告

- ① 学生宿舍の本格的な清掃を支援した。
- ② 協定校の訪問に際しての情報交換会はなかった。
- ③ 平成29年4月11日開催のATRIフォーラムを支援した。このフォーラムと本法人の関係は、学術会議と学会本体との関係に相当する。このフォーラムを学術会議と見なし、フォーラム会計として平成29年6月12日の理事会・社員総会に報告されたことが資料に基づき説明

された。本法人の役割には、このような学術会議を法人の活動として支援し、主催者に企業からの活動経費の受け皿としての環境を提供すると共に透明性の高い会議運営の機会を与えることにもある。学術会議を法人の連結決算として取り扱う学会、別会計にする学会など様々であり、今後の支援条件などについては、さらに内規等を作成して対応する。

閉会にあたり、議長より本総会の議事録署名人の選任を議場に諮ったところ、満場一致をもって下記の者が選任された。

議事録署名人 石村 栄治

議事録署名人 鶴田 大輔

以上をもって本日の議事全部を終了し、議長は18時30分閉会を宣した。

上記の決議を明確にするため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人が下記に記名捺印する。

平成30年5月28日

一般社団法人大阪国際医療機構 社員総会

(議事録作成者)

議長 代表理事 大畑 建治



議事録署名人 石村 栄治



議事録署名人 鶴田 大輔

